

一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 UDeスポーツを通じ老若男女を問わず交流できる機会を作る考えはないか	<p>(1) 県内各市町村でUDeスポーツの福祉や教育、生涯学習での導入事例が報道などでも盛んに取り上げられている。UDeスポーツに対する町の見解を伺う。</p> <p>(2) UDeスポーツ導入に際し国も様々な財源措置を講じており、DX推進を進める本町でも導入は可能ではないか。福祉の分野のみならず広域連携も視野に入れながら地域全体で取り組む考えはないか。</p>	町 長 教 育 長
2 物流を担うトラックドライバーの為、ステーション等の休息拠点を整備する考えはないか。	<p>(1) 2024年にはトラックドライバー労働環境改善のための改善基準告示など法令上の規制において、物流労働環境は大きな変化を迎える。tsmc、JASM周辺には関連企業の進出も受けてトラック交通がさらに増大することは明白だが対策等、整理は進んでいるか見解を伺う。</p> <p>(2) 町内で広大な駐車場を持つ施設等では、荷待ち、車寄せ等の時間調整、または仮眠や食事、トイレ休憩等トラックドライバーが苦勞しながら車両を停止させ待機している例をよく目にする。トラックドライバーが適切な休息をとるための拠点整備の施策は。</p>	町 長
3 正しいインクルーシブ社会の考え方と公園整備の具体策について	<p>(1) 昨年度一般質問をした「親水の要素を持った都市公園の整備」についての考え方を再度伺う。</p> <p>(2) インクルーシブ社会の定義と公園整備の現況について、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」や「都市公園法」と照らし合わせ齟齬はないか。</p> <p>(3) 誰もが楽しく使用する公共施設を目指す施設改修、新設の財源について「企業版ふるさと納税」を充当する考えと思うが、その財源適用範囲について町長の見解を伺う。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 乗合タクシーの町中心部への運行エリア拡充について	<p>10月～12月から、まちなかエリアにおける新たな公共交通事業（まちなかエリアの回遊性向上の取り組み・賑わいの創出等を目指した新たな移動手段）を実施するための実証運行を開始することのだが、初期経費としてバス停整備費に250万円、年間の運行収支予測が410万円の赤字となっている。</p> <p>昨年6月定例会での一般質問で、町内全ての地域で乗合タクシーを提供しない理由に財政をあげられたが、410万円の財源があれば乗合タクシーを利用したい全ての町民が利用できるように運行エリアを拡充し利便性を向上させることができるのではないか。</p> <p>(1) 収支赤字に年410万円支出するまちなかエリアにおける新たな公共交通事業を優先させる理由は何か。</p> <p>(2) 410万円の財源を乗合タクシーを町中心部に運行エリアを拡充するための補助金として支出しない理由は何か。</p> <p>(3) バスの利用料金の設定によっては赤字が予測した410万円よりも増えると思うがどのように考えているのか。</p> <p>(4) まず優先すべきは、まちなかエリアにおける新たな公共交通事業ではなく、乗合タクシーが利用できない地域にお住まいの高齢者や妊婦さんなどの買い物や通院など日常生活における移動手段の確保であり、一日も早く全ての町民が乗合タクシーを利用できるように運行エリアを拡充することではないか。</p>	町 長
2 手話言語条例制定について	<p>公民館講座で手話講座を実施するなど手話理解を広げる取り組みを進めているが、より幅広い理解を深めていくために広報などによる周知や普及促進の取り組みをさらに進めていくためにも手話言語条例を制定すべきではないか。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 町営住宅の維持管理について	長期的には公営住宅等長寿命化計画に基づいた改善事業や集約建替、用途廃止が実施されると思うが、現在の入居需要に対応するための予防保全的な維持管理や適切な修繕、募集業務は実施されているのか。	町 長
4 都市計画マスタープランの見直しについて	T SMCの進出などによる社会情勢の変化や、人口増加に対応した新たなまちづくりについての将来像を明確にするべきであり、そのためにも都市計画マスタープランの見直しに着手するべきではないか。	町 長

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1 通学路及び、地域住民の生活道路の安全対策について</p>	<p>これまでも通学路や住民の生活道路についてさまざまな質問が出たが、財政面の問題などで解決には至っていない。 そこで今回は費用を抑えた安全対策について町長の考えを伺う。 （1）通学路となる道路を通学、下校時間に合わせ規制する考えはないか。 （2）大型車の往来の激しい生活道路について大型車進入禁止などの規制をする考えはないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2 公共施設のネーミングライツ導入について</p>	<p>熊本県及び、県内自治体のスポーツ施設をはじめ、多くの公共施設で導入されているネーミングライツを本町でも導入する考えはないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 立野ダムのメリット・デメリットについて	<p>永年白川沿いに暮らす私自身が、穴あきダムである立野ダムのメリットを実感したのは、7月2日夕方から3日にかけての大雨のときである。ダムがなければ水位が堤防を越えて被害が発生したと思われる我が家対岸の白川右岸において、水量が最大の時でも堤防から約1メートル程度の余裕があり、そこから半日以上水量の変化はなかった。</p> <p>また、デメリットとして、大雨当日の朝からダムを見に行った際に、立野ダム内に大量の流木が浮いていた。その流木が、水量が減ると共に内牧区内の白川に砂と一緒に流れてきて、畑堰下流に大量に堆積し、更には畑井手取り入れ口にも堆積したため、畑井手に水が流れなくなり、翌日の朝からユンボ2台で流木と砂の撤去作業に追われることとなった。</p> <p>以上のことから、立野ダムのメリットを広く周知するとともに、今回判明したデメリットである流木と砂に対しては、対応策をダム事務所と協議すべきでないか。町長の見解を問う。</p>	町 長
2 地下水を心配している町民に対し、水田湛水事業をPRすべきでないか	<p>平成13年、熊本市で地下水の低下が問題となり、翌14年に灌水農法研究会が発足し、本格的な地下水対策に乗り出した。</p> <p>平成15年に大手企業や熊本市の協力を得て、おおきく土地改良区管内の農家による水田湛水事業が始まり約20年を迎えようとしている。しかし、非農家の町民はこの湛水事業のことを知らないのが現状である。</p> <p>町長は、おおきく土地改良区理事長も兼務されているので、TSMC進出の影響などにより地下水の問題を心配している町民に対し、色々な媒体を使って水田湛水事業をPRし、安心感を訴えるべきだが町長の見解を問う。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3 町職員の働き方改革（仕事内容の大幅な見直しと、残業時間短縮を）</p>	<p>国家公務員の週休3日制の話がある今日、町長自らの残業が多く感じられる。また、職員の残業時間は20時間から30時間以内に抑えるべきであり、終業時間を過ぎたら自宅へ帰り家族との時間をとり、翌日の仕事に備え準備する時間にすべきだが町長の見解を問う。</p>	<p>町長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1 いのちの水の汚染がないように、地下水の安全性の確認とチェック体制</p>	<p>熊本市内の井戸（14か所）から指針値を超えるPFASが検出され、熊本県も熊本市以外の市町村で検査する予定ですが、県予定の内容と大津町でも町内の地下水の検査が必要ではありませんか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2 公共交通空白地域にAI利用の乗合タクシーを。既存の乗合タクシーにもAI導入で利用者増加を。</p>	<p>地域公共交通会議の答申で「まちなかエリアにおける巡回バス」の実証実験が始まるとのことで、一歩前進と評価している。一方、町中心部と周辺地域の狭間の人たちは乗合タクシーの制度もなく、巡回バスのバス停まで歩くのが困難な人たちが公共交通から取り残されている。既存の民間バスは利用しずらく、バス停まで遠い地域もある。</p> <p>AIを利用したデマンド型タクシーの導入を検討すべきではないか。また既存の乗合タクシーの相乗り率を高めるためにも、AIの導入で待ち時間、乗車時間の短縮につながるのではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3 子育て支援は後れを取ってはならない。給食費の無償化を前進させるべきではないか。菊陽町にならってまず月千円の援助はそんなに難しいことでしょうか。</p>	<p>今現在、対策を取らないと予測以上に少子化は、進展してしまうといわれている。政府も給食費無償化を言い出したが、実現のめどはたっていない。お隣の菊陽町ではすでに一部援助が始まっている。大津町でも後れを取ってはならないと思う。</p> <p>保育の副食費と小学生、中学生の完全無償化の対象人数と予算額はいくらか。また菊陽町にならって、1人千円/月の補助をした場合の予算額はどうか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1 熊本空港周辺地域の騒音対策について</p>	<p>T SMCと関連企業進出に伴い不動産や建設関連の好調、また、コロナ感染の減少等々もあり観光客の増加、阿蘇くまもと空港も新たに完成しており、他県からのお客様、海外からの来客等が、日々増加傾向にあるようである。</p> <p>今後については、さらに台湾、韓国、ベトナム便等の増便も計画される様であり、そういった中、空港周辺地域においては、特に飛行機の離陸/着陸時は騒音の影響で、一時的に、テレビの音も聞こえず、会話もできない状態であり、ガマンしている現状である。</p> <p>上記の、現状を踏まえて、対策が必要と思うが、町長の所見を伺います。</p> <p>(1) 騒音に対する規制及び、騒音の現状と状況 (2) 騒音に対する苦情はあるのか・・・また、近隣地域との協議会等実施されているのか (3) 今後については、便数も増加していく中、騒音個所の見直しと騒音調査をすべきではないのか、特に空港周辺地域の測定 具体的には・・・下町/上町/中島/鳥子川/岩坂地区</p>	<p>町 長</p>
<p>2 災害を起こしかねない水路の点検/整備を</p>	<p>一口で水路といっても、大津町には様々な形態をていしてしております。歴史的な産物でもあり、今も大津町の水田900ヘクタール以上を養っている上井手、そして下井手。これからの水路は、大雨の際は白川の取水口を閉じて、周辺地域の宅地化等により非常に危険な状態になり、昭和57年には浸水し、町内に水害をもたらしております。これらの幹線的な水路の整備は、こういった災害を通して復旧工事が行われると共に、大規模な改修・改善が行われてきました。</p> <p>さて、私が今回質問いたしますのは室地区クローバー歯科医院の南側水路に象徴されるような水路のことですが、地域の方から相談があったものであり、内容は過去において側溝の上部にゴミがつまり水路の水が、道路周辺と住宅地内にあふれ出し、大変な思いをした所でもあり地域の皆さんが大雨のたびに一番心配されるところでありま</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>す。現地を見てみますと土が堆積し、雑草が生え、維持管理されている様子は、うかがえません。また町民の命と財産を脅かす個所が、他にありはしないか。町として、全地域を点検し整備する必要があると私は考えますが、町長の所見を伺います。</p> <p>(1) 本町が管理している水路の安全点検は、いつ実施しているのか また、点検の調査結果と状況は</p> <p>(2) 水路の整備は、どの様に対処されているのか 今後の計画はあるのか</p>	

一般質問通告書

通告順番 7 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 通学路の安全対策について	<p>全国的に通学途中での児童等の交通事故が相次いでおり、またJ A S Mの進出などにより交通量も増加していることから、さらなる通学路の安全の確保に向けた着実かつ効果的な取り組みが必要ではないか</p> <p>(1) 登下校の子供を守る「通学路見守りカメラ」の設置を提案</p> <p>(2) 街路樹による歩道の盛り上がりや段差が生じている危険箇所の歩道補修が必要ではないか</p> <p>(3) 各学校に置いて、児童生徒に対して指導や校区の危険箇所における注意すべきポイントについて、保護者や地域ボランティア等が共通理解を図り、交通安全確保の取り組みを推進していく必要があるが、実施状況と交通安全プログラムにおける合同点検位置以外の危険箇所の把握と対応は</p>	町 長 教育 長
2 いじめ対策について	<p>文部科学省の「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、61万5351件と過去最多を記録している。いじめを苦にした自殺の重大事態も後を絶たない。いじめに対して学校はどう対処すべきか、未然に防ぐことができるのか、教員の経験則に頼るのではなく、科学的に裏付けされた成功確率の高い手法を取り入れるべきではないか、欧米で成功している「いじめ予防プログラム」の8割は傍観者教育）であり、日本でも複数の学校でいじめ予防授業（トリプルチェンジプログラム）が始まっている。本町でも導入するべきではないか、教育長の見解を問う。</p>	教育 長

一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 大村 裕一郎 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 人参選果場新築について	<p>J A菊池では人参の選果場の老朽化に伴い、新しく選果場の整備を検討している。この選果場は大津町と菊陽町の農家が共同で使用しているが、菊陽町では前回の議会においていち早く手厚く支援をしていくと答弁があり、大津菊陽の人参農家は安堵している所である。</p> <p>しかし、現在の状況では国県の補助金を活用したとしても建設費の高騰等もありその負担は利用者である農家に重くのしかかる。</p> <p>大津町も菊陽町と協力し、補助を検討するべきではないかと考えるが町長の考えを問う。</p>	町 長
2 農業者の収入保険について	<p>農業を取り巻く状況は資材高騰等により依然として悪い状況にある。そういった状況も踏まえ合志市では、保険加入の呼び水的な意味合いで6万円上限の保険加入掛金三分の一を補助する事業を行っている。</p> <p>大津町でも数度にわたり農家に物価高騰対策として補助を行っているが、今後の状況を考えれば農家に対して合志市が行ったような保険への加入を促すような施策を行っていくことも必要ではないかと考えるが、町長の考えを問う。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 産後ケア事業について	<p>産後ケアは、出産後の母子が助産師などの専門家から心身の支援を受けられる事業である。これまで国の実施要綱は対象を「心身の不調または育児不安等がある者」「特に支援が必要と認められる者」としていたが、今回、「産後ケアを必要とする者」と改定し、希望者全員が対象となることを明確にした。</p> <p>大津町のホームページでは産後ケア事業が分かりにくく、目的とする情報を見つけにくい状況である。</p> <p>大津町の産後ケア事業の現状や周知方法、他関連機関との連携はどうなっているのか。今後、大津町で増えるであろう外国人の産後ケアもどう考えているのか。</p>	町 長
2 まちづくり懇談会の検証について	<p>コロナ後しばらくぶりのまちづくり懇談会が開催され、広報おおづでも4ページにわたり報告記事が掲載された。7か所で開催されたことやその内容、地域のことを一緒に考えるという視点では評価されると思う。しかし今までも町民に周知する方法・集客方法で指摘を受けていたがその改善はなされておらず、「町民に町のことを伝えて広く意見を聞きたい」という趣旨には程遠く今回も参加者が少なかった印象である。</p> <p>また、懇談会の進め方についてきちんと準備はなされていたのか。今回出た意見やワークショップでのまとめに対して、町はどうしていくのか。</p>	町 長
3 町内の安全安心について	<p>安全安心なまちづくりとして、街灯の設置や防犯カメラ設置など取り組みが進んでいる。不審者情報は以前より減った印象ではあるが、もっと「安心して暮らせる大津町」の実現へ向けては町としての予算の重点配分とタイムリーな施策の実現が望まれるところである。それら施策の実現に向けては警察署等との情報共有による地域犯罪の未然防止へ向けた取り組みが不可欠と考えるが、そのような情報共有の取り組みなどはされているのか。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 業務見直しやDX推進による業務改善（BPR）の進捗について	(1) 昨年の業務量調査を受けての業務改善の進め方 (2) DX推進計画の実効性 (3) 職員定数の増は包括的取り組みの一部	町 長
2 こども基本法と、新たなこども計画の策定について	(1) こども基本法と今後の町のこども政策 ・こども条例と、こども政策課の必要性 (2) こども計画への反映	町 長 教育長
3 内部統制制度（ガバナンス）の整備について	(1) 続発する不適切事務・訴訟事件等の組織的要因 (2) 内部統制による改善	町 長 教育長

一般質問通告書

通告順番 11 番
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 東部清掃工場の解体について	<p>使われなくなった工場は町のイメージを損なう迷惑マークである 現地は廃墟となり荒廃が進んでいる 解体費用約8億円の財源確保と期間の明確化 町民の理解を得る必要がある 解体終了後の利用計画 周辺地域の可能性の創出</p>	町 長
2 国県のインフラ整備計画と町の発展について	<p>町の工業団地整備に多大な影響を与える 高規格道路は県道325線までの早期着工が必須である 近郊市町との企業誘致合戦に勝算はあるのか 県は新たに菊池市に工業団地を整備するが、なぜ大津町は単独か 振興総合計画に及ぼす影響とは 1次産業の生産性向上は可能か 町道整備との連携で宅地開発を加速させ人口を増加させる</p>	町 長

